

第4回 関西・中国地区のチョウ類の保全を考える集い ご案内

チョウや自然環境の保全を考える「チョウ類の保全を考える集い」を、下記の要領で開催いたします。
ご興味・ご関心のある方はぜひご参加ください。

主催 : NPO 法人 日本チョウ類保全協会
日時 : 2014年3月29日(土) 13:00~17:30 (終了後懇親会)
場所 : 兵庫県民会館 1202 会議室 (12F)

プログラム

13:00 開会

13:10~13:50 基調講演 兵庫県におけるシカ対策の現状と課題 浅田卓氏 (兵庫県森林動物研究センター)

13:50~14:50 パネルディスカッション シカ調査・対策の最新事情と我々の課題

西日本のチョウを考える上で避けて通れず、すでに最優先事項となったシカ被害の状況を知るだけでなく、先端の取り組みを御紹介いただきながら、充実した議論の場にしたいと考え、時間を長めに設定しました。パネルディスカッションでは、対策の前線で向き合っておられた浅田氏や、チョウへの影響を最も早くから調査された近藤伸一氏を中心に、研究者による個体数推定や適性個体数の算出方法、駆除方法の現状と課題を教わるとともに、調査研究面から学び、チョウの調査を通して何をすべきか考える場にしたいと企画しました。

<14:50~15:00 休憩>

15:00~15:30 ヒメヒカゲの保全をめぐる最近の状況 立岩幸雄氏 (加古川ギフチョウネット)

※前半15分は講演、後半15分は、事前にまとめた近畿・中国地方におけるヒメヒカゲの現状と討議

15:30~16:10 クロシジミの遺伝的多様性と保全の課題 竹内剛氏 (京都大学)

※前半20分は講演、後半20分は、事前にまとめた近畿・中国地方におけるクロシジミの現状をもとに討議

16:10~17:00 協会の活動と全国的なチョウ類の動向 (特にツシマウラボシシジミとヒメチャマダラセセリ) および、庭のチョウ調査の計画 協会事務局

※ツシマウラボシの現状紹介20分、ヒメチャマダラとチャマダラセセリで10分、庭のチョウの計画で10分

<17:00~17:10 休憩>

17:10~17:40 東日本大震災の津波跡地の現状と復旧事業の問題点 永幡嘉之氏 (事務局)

特に事業の進み方について最新事情をまとめるほか、福島のアマトシジミの研究についても紹介

17:40~ 懇親会

■会場案内

会場：兵庫県民会館（〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3 TEL：078-321-2131）

参加費：500 円

懇親会費：3,000 円（予定。参加希望者は3月23日までに必ずご連絡をお願いします。）

会費は当日会場で徴収します）

会場へのアクセス（地図参照）

- ☆地下鉄山手線「県庁前駅」下車すぐ
- ☆JR 神戸線「JR 元町駅」下車・北へ徒歩約7分
- ☆阪神本線「阪神元町駅」下車・北へ徒歩約7分
- ☆阪急神戸線「阪急花隈駅」下車・北へ徒歩約15分



- ・マイカーの場合、会館有料駐車場 42 台収容 駐車料金 20 分 130 円

■お問い合わせは、下記まで

特定非営利活動法人 日本チョウ類保全協会 事務局

140-0014 東京都品川区大井 1-36-1 曾根プラザ 301 号

TEL 080-5127-1696 Email : jbc@japan-inter.net <http://www.japan-inter.net/jbc/>